

会議名	第6回地域計画分科会		公開
日時	令和元年12月2日(月) 午後7時30分～午後9時30分	場所	一鍬田公民館 2階 会議室
出席者	(委員) 伊田雅美、小林勝則、加藤久美子、山本いづみ、井上こずえ、 滝川多嘉子		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長 自治振興事務所：松井所長、森下主事		
欠席者	(委員) 夏目祐輔	傍聴者	0名
配布資料	次第		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

2 ワークショップ

・第2回八名まちづくり茶話会について

令和2年1月11日に開催予定である第2回八名まちづくり茶話会について、開催内容及び市担当への質問内容の確認を行った。

<主な意見>

(分科会長) 質問事項については、担当課に事前に回答を用意していただき、口頭での回答だけでなく、手元資料として配布することがよいか。

(委員) 資料を用意していただけるとありがたいが、まとめていただけるか。

(分科会長) 担当課で資料としてまとめていただけるようであればありがたいが、まとめられなければ口頭での説明を依頼することとします。

意見交換について、前回の茶話会では、参加者同士での話し合いの中で憶測しかできなかつたため、今回は担当課からの返答をもらいながら進行したい。

また、なるべく参加者に発言をしてもらい、分科会委員はその意見を聞き、分科会へ持ち帰り、八名地域の方向性についてまとめていきたい。

(分科会長) 提案であるが、佐宗議員が公共交通についてよく勉強されており、10分程度で話をしていただくのはどうか。

(委員) 担当課の説明と重複してしまわないか。

(分科会長) 市は視察へ行っていないので、そのあたりを話してもらえるとよい。

(委員) 時間も限られており、話を聞いてばかりでは意見を交わす時間が少なくなってしまうのではないか。

(分科会長) 佐宗議員には参加について声掛けし、茶話会の進行の中で、作手の状況などを話していただくこととしましょう。

また、当日のグループについて、机を囲むワークショップ形式の方が話しやすいと思いますので、各テーブルに5、6名ずつ座れるようにセッティングしましょう。

(事務局) 今回の参加者はだいたいどのような方が集まる想定か。

(分科会長) JAプラザ近辺の70代、80代の方たちと思われる。

(事務局) 現在困っている方だけでなく、今後困るであろう方にも話を聞けるとよい。

(委員) 地域交通という言葉が示すのは、どのようなことか。

(所長) 地域の生活の足を示しています。

(委員) 地域内の足が確保できても、行き先での交通がないことには、交通機関などを利用しにくいのではないかと。行き先での交通手段も重要。

(事務局) まずは「どこに行きたいか」を聞いてみるのはいかがでしょうか。

(分科会長) 5年後、10年後どこに行きたいかを踏まえながら、茶話会の進行内容を事務局とともに再度検討する。

(委員) 茶話会の開催後、どのようにまとめていくのか。例えば、協議会としての提案や報告、区長会にもご協力いただき市への要望とするのか。

(事務局) いきなり要望とするのではなく、担当課にも地域の意見を聞いていただき、市としてできそうなことなど引き出しながら進行できるとよい。

(委員) できそうなものからやっていくのがよいと思う。地域の方と担当課が一緒に話し、できそうなことを探っていくとよい。

・地域計画の見直しについて

前回の分科会において話し合った地域計画の見直しについて、各柱ごとの実施計画(具体策)を検討していくこととした。各柱ごとの検討状況は以下のとおり。

<主な意見>

広報

- ・ これまでは地域拠点において情報収集を中心に活動してきたが、これからは情報発信や茶話会などによりピンポイントの課題に対して地域の方にも集まっていたいただきながら情報収集ができるようにしていきたい。
- ・ 地域拠点に集められる情報として、周知のみでよいもの、協議が必要となるものがある。協議が必要なものは協議会に諮る。
- ・ 地域拠点を情報収集、発信と交流の場にしていきたい。交流の場として、子育て支援にもつなげていけるとよい。(地域活動交付金も活用してはどうか)
子育て世代の方が集まり、交流のできる場所が必要と思われる。
- ・ 地域拠点の整備を行ったらどうか。
- ・ SNSの活用も考える。また、そのSNSによる周知度も計れるとよい。

共育

- ・ 共育活動については、学校活動とは別で、地域講師による講座を主体としている。
- ・ 地域講師の人材発掘を進めていきたい。
- ・ 共育活動の目的として、子どもには土日などに学校ではできないことを体験してもらおう、地域住民の方も参加していただき楽しんでいただく、地域講師として活躍していただくことで生きがいを感じていただけるようにしている。
- ・ 挨拶運動も共育活動のうちのひとつではないか。
- ・ 共育推進委員会のメンバーを増やし、講座も増やしていきたい。

- ・ 共育活動において、子どもたちが年代の違う地域講師と交流できるところがよい。

食農

- ・ 農地の活用については、難しい。(特に畑地の活用が難しい)
- ・ 八名丸里芋として売り出すにあたっては、規格に合う必要がある。
- ・ 食農に対する当初の考え方として、地域の野菜を地域の子どもたちが食べて、またつくっていくという循環(地産地消)を目指している。その中で特産品をつくり、売ってあげたらいいという意見があった。

歴史文化

- ・ 八名にある文化財等の維持に関して、自治区予算を充てられることはないか。
- ・ 五葉城の整備に関しては、概ね整備ができているので、広報と維持管理にお金を使ってはどうかと話をしたが、具体策には至っていない。
- ・ 活字として残っているものはあるが、写真などで残っているのは少ない。
→富岡ふるさと会館のホームページに掲載されている。

安心・安全

- ・ 八名青パト隊の活動において、散歩している方なども見守りとして参加していただくのはどうか。また、車に乗らずともできる活動はないか。
- ・ 青パト隊の活動以外で加えようとすると、見守り活動や挨拶運動ではないか。

この続きについては、次回の地域計画分科会にて検討することとした。

3 その他

・ 次回の地域計画分科会について

次回の地域計画分科会は、令和元年12月16日(月)19時30分から一畝田公民館2階会議室にて開催することとなった。

4 閉会

- ① 広報 **茶話会** 掲載 3. 各団体PR
 Svs 情報発信と交流の場
 収集 PRのみ 協賛を必要とする
 ・JAアラザ掲示 拠点の整備
- ② 共育 **共育推進委員会** 学校との関わり方を明確にPR
 土日長期休み 講座 学校の内?外? 挨拶運動
 文庫金 山本さくら 30万円 子育て支援(告知)
- ③ 良農 **農地の活用** 名物(いわれ五平だんご)中学生考案 1800米 1800米 } 10% 試作販売
 遊休農地 1800米 1800米 }
 1800米 6次産業 地産地消
- ④ 歴史文化 **現在の団体におまかせ** 財政(自治体予算...来年度検討)神修
 写真
- ⑤ 安心安全 **青い隊**・AED・学校周辺道路・スクールガード・挨拶運動
 女性中心 講座 鹿野ハル
- ⑥ 防災・減災 黄色いハンカチ周知・自主防災会・小名地区全体の自主防災会会長連絡会(協賛費案)
- ⑦ 環境 公共交通、里山整備
- ⑧ 健康・福祉 各行政区や団体で行っている
- ⑨ 人 女性の活躍・人材バンク・交付金活動団体